

学校コード F128310108892

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

認可

注2

兵庫医科大学大学院 看護学研究科 看護学専攻(修士課程)

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人兵庫医科大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局

職名・氏名 フチョウ タカギ カスヒコ
部長 高城 一彦

電話番号 0798-45-6154

(夜間)

e-mail takagi@hyo-med.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

看護学研究科

| ＜看護学専攻＞ | ページ |
|-------------------|-----|
| 1. 調査対象大学等の概要等 | 1 |
| 2. 授業科目の概要 | 5 |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費 | 12 |
| 4. 既設大学等の状況 | 13 |
| 5. 教員組織の状況 | 15 |
| 6. 附帯事項等に対する履行状況等 | 29 |
| 7. その他全般的事項 | 30 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人兵庫医科大学

(2) 大学名

兵庫医科大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6

(本部 〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 設置時 | 変更状況 | 備考 |
|------|----------------------------------|------|----|
| 理事長 | (たしろ ちから) 太城 力良 (平成30年10月) | | |
| 学長 | (のぐち こういち) 野口 光一 (平成28年4月) | | |
| 研究科長 | (つちだ としえ) 土田 敏恵 (平成31年4月) | | |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

| 調査対象学部等の名称（学位） | 学位又は学科の分野 | 設置時の計画 | | | | 学生募集の停止について | 備考 |
|----------------------------|--------------------|--------|--------|--------------|---------|-------------|----|
| | | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | | |
| 看護学研究科 看護学専攻 修士（看護学） | 保健衛生学関係 （看護学関係） | 2 年 | 8 人 | — 年次 人 | 16 人 | 新規入学者を募集中 | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 平均入学定員超過率 | 開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率 | 備考 |
|----------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------------|------------------------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | | | |
| A 入学定員 | () [] | 8人 | — | |
| 志願者数 | () [] | 11 (-) [-] | - (-) [-] | |
| 受験者数 | () [] | 11 (-) [-] | - (-) [-] | |
| 合格者数 | () [] | 11 (-) [-] | - (-) [-] | |
| B 入学者数 | () [] | 9 (-) [-] | - (-) [-] | |
| 入学定員超過率 B/A | | | | | | | | | | | 1.12 | | |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 学年 | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 備 考 |
|-----|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|---------------------|---------------------|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | |
| 1年次 | - [-] (-) | 9 [-] (-) | - [-] (-) | |
| 2年次 | / | | - [-] (-) | 13 [-] (1) | - [-] (-) | |
| 3年次 | | | / | | / | | - [-] (-) | - [-] (-) | - [-] (-) | - [-] (-) | - [-] (-) |
| 4年次 | / | | | | | | / | | / | | - [-] (-) |
| 計 | | | [] () | [] () | [] () | [] () | | | | | [] () |

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 在学者数(b) | 退学者数(a) | 内訳 | | | 主な退学理由 (留学生の理由は[]書き) |
|------------|---------|---------|--------|--------|----|--------------------------|
| | | | 入学した年度 | 退学者数 | | |
| | | | | うち留学生数 | | |
| 平成30年度 | 人 | 人 | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| 令和元年度 | 人 | 人 | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和元年度 | 人 | 人 | |
| 令和2年度 | 人 | 人 | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和元年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和2年度 | 人 | 人 | |
| 令和3年度 | 人 | 人 | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和元年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和2年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和3年度 | 人 | 人 | |
| 令和4年度 | 22人 | 0人 | 平成30年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和元年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和2年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和3年度 | 人 | 人 | |
| | | | 令和4年度 | 0人 | 0人 | |
| 合計 | | 0人 | | 0人 | 0人 | |

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---------------|--------------------|---------|-----|----|----|----------|-----|----|----|-------|------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 共通土曜科目 | 医療統計学特論 | 1後 | 1 | | | | | | | | 兼2 オムニバス |
| | 医療倫理学特論 | 1前 | 1 | | | | 1 | | | | 兼6 オムニバス・共同(一部) |
| | 先進医療支援特論 | 1前 | 1 | | | 2 | 3 | | | | 兼7 オムニバス・共同(一部) |
| | 小計(3科目) | — | 0 | 3 | 0 | 0 | 2 | 4 | 0 | 0 | 兼8 — |
| 看護学共通科目 | 看護教育論 | 1前 | 2 | | | | 1 | | | | 兼9 オムニバス |
| | 看護倫理 | 1前 | 2 | | | | | | | | 兼10 オムニバス |
| | 看護理論 | 1前 | 2 | | 2 | | | | | | 兼11 オムニバス |
| | 看護管理論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 兼12 オムニバス |
| | 看護政策論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 兼13 オムニバス |
| | コンサルテーション論 | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 兼14 オムニバス・共同(一部) |
| | 看護研究 | 1前 | 2 | | 4 | | | | | | 兼15 オムニバス・共同(一部) |
| | 看護研究演習 | 1前 | 1 | | 1 | | | | | | 兼16 オムニバス・共同(一部) |
| | システマティックレビュー | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 兼17 オムニバス・共同(一部) |
| | アドバンスト・フィジカルアセスメント | 1前 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 兼18 オムニバス・共同(一部) |
| | 臨床薬理学 | 1後 | 2 | | 2 | | | | | | 兼19 オムニバス・共同(一部) |
| | 疾病・病態特論 | 1前 | 2 | | 2 | | | | | | 兼20 オムニバス・共同(一部) |
| 小計(12科目) | — | 0 | 23 | 0 | 8 | 0 | 1 | 2 | 0 | 兼40 — | |
| 基盤看護学分野 | 基礎看護学特論 | 1前 | 2 | | 2 | | | | | | 共同 |
| | 基礎看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 2 | 1 | | | | | 共同 |
| | 基礎看護学演習 I | 1通 | 2 | | 2 | 2 | 1 | | | | 兼21 オムニバス・共同(一部) |
| | 基礎看護学演習 II | 1通 | 2 | | 2 | 2 | | | | | 共同 |
| | 基礎看護学演習 III | 1通 | 2 | | 2 | 2 | 1 | | | | 共同 |
| | 基礎看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 2 | | | | | | 共同 |
| | 看護教育学特論 | 1前 | 2 | | 2 | 1 | | | | | 共同 |
| | 看護教育学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 看護教育学演習 I | 1通 | 2 | | 2 | 2 | 1 | | | | 共同 |
| | 看護教育学演習 II | 1通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 看護教育学演習 III | 1通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 看護教育学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 看護開発科学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 看護開発科学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 看護開発科学演習 I | 1通 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 看護開発科学演習 II | 1通 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 看護開発科学演習 III | 1通 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 看護開発科学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | 共同 |
| 小計(18科目) | — | 0 | 60 | 0 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 兼 — |
| 看護学専門科目 | 急性病態治療学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 兼22 オムニバス |
| | 急性看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 急性看護学援助特論 I | 1前 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 急性看護学援助特論 II | 1後 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 兼23 オムニバス |
| | 急性看護学援助特論 III | 1通 | 2 | | 1 | | | 1 | | | 兼24 オムニバス |
| | 急性看護学演習 IA | 1通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 急性看護学演習 IIA | 1通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 急性看護学演習 IIIA | 2通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 急性看護学演習 IB | 1通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 兼25 オムニバス・共同(一部) |
| | 急性看護学演習 IIB | 1通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 兼26 オムニバス・共同(一部) |
| | 急性看護学演習 IIIB | 2前 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 兼27 オムニバス |
| | 急性看護学実習 I | 1後 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 急性看護学実習 II | 2通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 急性看護学実習 III | 2通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 急性看護学実習 IV | 2通 | 4 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 急性看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 急性看護学課題研究 | 2通 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 療養支援看護学分野 | がん病態治療学 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | |
| がん看護学特論 | | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 兼29 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学援助特論 I | | 1後 | 2 | | 1 | | | | | | 兼30 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学援助特論 II | | 1後 | 2 | | 1 | | | | | | 兼31 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学援助特論 III | | 2前 | 2 | | 1 | | | | | | 兼32 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学演習 IA | | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 兼33 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学演習 IIA | | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 兼34 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学演習 IIB | | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 兼35 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学演習 IIB | | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 兼36 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学演習 III | | 1後 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| がん看護学実習 I | | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| がん看護学実習 II | | 2通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |

【令和4年度】

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---------------|--------------------|---------|-----|----|----|----------|-----|----|----|-------|------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| 共通土曜科目 | 医療統計学特論 | 1後 | 1 | | | | | | | | 兼2 オムニバス |
| | 医療倫理学特論 | 1前 | 1 | | | | 1 | | | | 兼6 オムニバス・共同(一部) |
| | 先進医療支援特論 | 1前 | 1 | | | 1 | 2 | 3 | | | 兼7 オムニバス・共同(一部) |
| | 小計(3科目) | — | 0 | 3 | 0 | 1 | 2 | 4 | 0 | 0 | 兼8 — |
| 看護学共通科目 | 看護教育論 | 1前 | 2 | | | | 1 | | | | 兼9 オムニバス |
| | 看護倫理 | 1前 | 2 | | | | | | | | 兼10 オムニバス |
| | 看護理論 | 1前 | 2 | | 2 | | | | | | 兼11 オムニバス |
| | 看護管理論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 兼12 オムニバス |
| | 看護政策論 | 1後 | 2 | | | | | | | | 兼13 オムニバス |
| | コンサルテーション論 | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 兼14 オムニバス・共同(一部) |
| | 看護研究 | 1前 | 2 | | 4 | | | | | | 兼15 オムニバス・共同(一部) |
| | 看護研究演習 | 1前 | 1 | | 1 | | | | | | 兼16 オムニバス・共同(一部) |
| | システマティックレビュー | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 兼17 オムニバス・共同(一部) |
| | アドバンスト・フィジカルアセスメント | 1前 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 兼18 オムニバス・共同(一部) |
| | 臨床薬理学 | 1後 | 2 | | 2 | | | | | | 兼19 オムニバス・共同(一部) |
| | 疾病・病態特論 | 1前 | 2 | | 2 | | 1 | 1 | | | 兼20 オムニバス・共同(一部) |
| 小計(12科目) | — | 0 | 23 | 0 | 9 | 1 | 1 | 2 | 0 | 兼37 — | |
| 基盤看護学分野 | 基礎看護学特論 | 1前 | 2 | | 2 | 1 | | | | | 共同 |
| | 基礎看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 2 | 1 | 1 | | | | 共同 |
| | 基礎看護学演習 I | 1通 | 2 | | 2 | 1 | 3 | 2 | | | 兼21 オムニバス・共同(一部) |
| | 基礎看護学演習 II | 1通 | 2 | | 2 | 1 | 2 | | | | 共同 |
| | 基礎看護学演習 III | 1通 | 2 | | 2 | 1 | 3 | 2 | | | 共同 |
| | 基礎看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 2 | | | | | | 共同 |
| | 看護教育学特論 | 1前 | 2 | | 2 | 1 | | | | | 共同 |
| | 看護教育学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 看護教育学演習 I | 1通 | 2 | | 2 | 2 | 1 | | | | 共同 |
| | 看護教育学演習 II | 1通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 看護教育学演習 III | 1通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 看護教育学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 看護開発科学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 看護開発科学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 看護開発科学演習 I | 1通 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 看護開発科学演習 II | 1通 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 看護開発科学演習 III | 1通 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 看護開発科学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | 共同 |
| 小計(18科目) | — | 0 | 60 | 0 | 3 | 1 | 3 | 2 | 0 | 0 | 兼 — |
| 看護学専門科目 | 急性病態治療学 | 1前 | 2 | | | | | | | | 兼22 オムニバス |
| | 急性看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 急性看護学援助特論 I | 1前 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 急性看護学援助特論 II | 1後 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 兼23 オムニバス |
| | 急性看護学援助特論 III | 1通 | 2 | | 1 | | | 1 | | | 兼24 オムニバス |
| | 急性看護学演習 IA | 1通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 急性看護学演習 IIA | 1通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 急性看護学演習 IIIA | 2通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 共同 |
| | 急性看護学演習 IB | 1通 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 兼25 オムニバス・共同(一部) |
| | 急性看護学演習 IIB | 1通 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | | | 兼26 オムニバス・共同(一部) |
| | 急性看護学演習 IIIB | 2前 | 2 | | 1 | 1 | | | | | 兼27 オムニバス |
| | 急性看護学実習 I | 1後 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | | | 共同 |
| | 急性看護学実習 II | 2通 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | | | 共同 |
| | 急性看護学実習 III | 2通 | 2 | | 1 | 1 | | 1 | | | 共同 |
| | 急性看護学実習 IV | 2通 | 4 | | 1 | 1 | | 1 | | | 共同 |
| | 急性看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 急性看護学課題研究 | 2通 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 療養支援看護学分野 | がん病態治療学 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | |
| がん看護学特論 | | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 兼29 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学援助特論 I | | 1後 | 2 | | 1 | | | | | | 兼30 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学援助特論 II | | 1後 | 2 | | 1 | | | | | | 兼31 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学援助特論 III | | 2前 | 2 | | 1 | | | | | | 兼32 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学演習 IA | | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 兼33 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学演習 IIA | | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 兼34 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学演習 IIB | | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 兼35 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学演習 IIB | | 1後 | 2 | | 1 | | 2 | | | | 兼36 オムニバス・共同(一部) |
| がん看護学演習 III | | 1後 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| がん看護学実習 I | | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | 1 | | 共同 |
| がん看護学実習 II | | 2通 | 2 | | 1 | | 2 | | 1 | | 共同 |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|-----------|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|----|----------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| | がん看護学実習Ⅲ | 2通 | 2 | | 1 | | | 1 | | | 共同 |
| | がん看護学実習Ⅳ | 2通 | 2 | | 1 | | | 1 | | | 共同 |
| | がん看護学実習Ⅴ | 2通 | 2 | | 1 | | | 1 | | | 共同 |
| | がん看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | |
| | がん看護学課題研究 | 2通 | 2 | | 1 | | | | | | |
| 療養支援看護学分野 | 慢性看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 慢性看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 慢性看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 慢性看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 慢性看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 慢性看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | |
| | 精神看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 精神看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 精神看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 |
| | 精神看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 |
| 精神看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 | |
| 精神看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | | |
| 小計(46科目) | — | 0 | 126 | 0 | 3 | 1 | 3 | 2 | 0 | 兼3 | — |
| 家族支援看護学分野 | 小児看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 小児看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 小児看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 小児看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 小児看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 小児看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | |
| | 母性看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 兼1 オムニバス |
| | 母性看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | 2 | | | | 兼1 オムニバス |
| | 母性看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 兼1 オムニバス |
| | 母性看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 兼1 オムニバス |
| 母性看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 | |
| 母性看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | | |
| 助産学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 | |
| 助産学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | 2 | | | | 共同 | |
| 助産学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 | |
| 助産学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 | |
| 助産学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 | |
| 助産学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | | |
| 小計(18科目) | — | 0 | 60 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 0 | 兼1 | — |
| 生活支援看護学分野 | 老年看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 老年看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 老年看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 老年看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 老年看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 老年看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | |
| | 地域看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 地域看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 地域看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 |
| | 地域看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 |
| 地域看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 | |
| 地域看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | | |
| 在宅看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 | |
| 在宅看護学援助特論 | 1前 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 | |
| 在宅看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 | |
| 在宅看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 | |
| 在宅看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 | |
| 在宅看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | | |
| 小計(18科目) | — | 0 | 60 | 0 | 3 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | — |
| 合計(115科目) | — | 0 | 332 | 0 | 12 | 4 | 10 | 5 | 0 | 兼7 | — |
| 卒業要件及び履修方法 | | | | | | | | | | | |
| <p>・看護学基礎研究領域 以下の①②③の科目を合計32単位以上履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格する。 ①修士課程共通科目 3科目のうち2科目(2単位)以上選択 ②看護学共通科目 12科目のうち2科目(4単位)以上選択 ③看護学専門科目 専攻分野の看護学特論、看護学援助特論、看護学演習の計10単位以上、および看護学特別研究10単位を履修</p> <p>・看護学課題研究・高度実践領域 以下の①②③の科目を合計42単位以上履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で課題研究報告書の審査及び最終試験に合格する。 ①修士課程共通科目 3科目のうち2科目(2単位)以上選択 ②看護学共通科目 Aの7科目のうち4科目6単位以上、Bの3科目6単位を履修 ③看護学専門科目 専攻分野の看護学特論、看護学援助特論、看護学演習から14単位以上、看護学実習10単位と課題研究2単位を履修</p> | | | | | | | | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 兼任・兼担 |
|---|-----------|------|-----|----|----|----------|-----|----|----|-----|----------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | |
| | がん看護学実習Ⅲ | 2通 | 2 | | 2 | | | 1 | | | 共同 |
| | がん看護学実習Ⅳ | 2通 | 2 | | 2 | | | 1 | | | 共同 |
| | がん看護学実習Ⅴ | 2通 | 2 | | 2 | | | 1 | | | 共同 |
| | がん看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | |
| | がん看護学課題研究 | 2通 | 2 | | 1 | | | | | | |
| 療養支援看護学分野 | 慢性看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 慢性看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 慢性看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 慢性看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 慢性看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 慢性看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | |
| | 精神看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 精神看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 精神看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 |
| | 精神看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 |
| 精神看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 | |
| 精神看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | | |
| 小計(46科目) | — | 0 | 126 | 0 | 4 | 3 | 2 | 2 | 0 | 兼30 | — |
| 家族支援看護学分野 | 小児看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 小児看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 小児看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 小児看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 小児看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 小児看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | |
| | 母性看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 兼1 オムニバス |
| | 母性看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 兼1 オムニバス |
| | 母性看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 兼1 オムニバス |
| | 母性看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 兼1 オムニバス |
| 母性看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 | |
| 母性看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | | |
| 助産学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 | |
| 助産学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | 2 | | 1 | | 共同 | |
| 助産学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 2 | 1 | 1 | 2 | 共同 | |
| 助産学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 2 | | | | 共同 | |
| 助産学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 | |
| 助産学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | | |
| 小計(18科目) | — | 0 | 60 | 0 | 3 | 1 | 2 | 2 | 0 | 兼1 | — |
| 生活支援看護学分野 | 老年看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 老年看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 老年看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 老年看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 老年看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 老年看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | 1 | | | | |
| | 地域看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 地域看護学援助特論 | 1後 | 2 | | 1 | | | | | | 共同 |
| | 地域看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 |
| | 地域看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 |
| 地域看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 | |
| 地域看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | | | | | | |
| 在宅看護学特論 | 1前 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 | |
| 在宅看護学援助特論 | 1前 | 2 | | 1 | | 1 | | | | 共同 | |
| 在宅看護学演習Ⅰ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 | |
| 在宅看護学演習Ⅱ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 | |
| 在宅看護学演習Ⅲ | 1通 | 2 | | 1 | | 1 | 1 | | | 共同 | |
| 在宅看護学特別研究 | 2通 | 10 | | 1 | | 1 | 1 | | | | |
| 小計(18科目) | — | 0 | 60 | 0 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | — |
| 合計(115科目) | — | 0 | 332 | 0 | 13 | 8 | 9 | 6 | 0 | 兼71 | — |
| 卒業要件及び履修方法 | | | | | | | | | | | |
| <p>・看護学基礎研究領域 以下の①②③の科目を合計32単位以上履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査及び最終試験に合格する。 ①修士課程共通科目 3科目のうち2科目(2単位)以上選択 ②看護学共通科目 12科目のうち2科目(4単位)以上選択 ③看護学専門科目 専攻分野の看護学特論、看護学援助特論、看護学演習の計10単位以上、および看護学特別研究10単位を履修</p> <p>・看護学課題研究・高度実践領域 以下の①②③の科目を合計42単位以上履修し、かつ必要な研究指導を受けた上で課題研究報告書の審査及び最終試験に合格する。 ①修士課程共通科目 3科目のうち2科目(2単位)以上選択 ②看護学共通科目 Aの7科目のうち4科目8単位以上、Bの3科目6単位を履修 ③看護学専門科目 専攻分野の看護学特論、看護学援助特論、看護学演習から14単位以上、看護学実習10単位と課題研究2単位を履修</p> | | | | | | | | | | | |

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

| |
|--|
| <p>【先進医療支援特論】 教授1名の追加および兼任1名の委嘱取りやめにより「教授 0→1」「兼 6→5」に変更。 【修士課程共通科目 小計 (3科目)】 上記変更により「教授 0→1」「兼 8→7」に変更</p> <p>【コンサルテーション論】 教授1名を認可時の教員から新たに追加した教員へ変更。人数の変更はなし。 【疾病・病態特論】 認可時の教授2名のうち1名が2022年5月1日現在准教授のため「教授 2→1」「准教授 0→1」に変更。 【看護学共通科目 小計 (12科目)】 認可時の教授8名のうち1名が2022年5月1日現在准教授。退職予定のため、認可時教員数に含まれていない教授1名が2022年5月1日現在在職。教授1名追加。以上により「教授 8→9」「准教授 0→1」。認可時の兼40のうち3名が重複して計上されていたため「兼 40→37」に変更</p> <p>【基礎看護学特論】 【基礎看護学援助特論】 准教授の追加により「准教授 0→1」に変更 【基礎看護学演習Ⅰ】 准教授1名、講師1名、助教1名の追加により「准教授 0→1」「講師 2→3」「助教 1→2」に変更 【基礎看護学演習Ⅱ】 准教授の追加により「准教授 0→1」に変更 【基礎看護学演習Ⅲ】 准教授1名、講師1名、助教1名の追加により「准教授 0→1」「講師 2→3」「助教 1→2」に変更 【看護教育学特論】 認可時の教授2名のうち1名が担当取りやめのため「教授 2→1」に変更 【看護教育学特別研究】 認可時の講師1名の担当取りやめにより「講師 1→0」に変更 【基礎看護学分野 小計 (18科目)】 准教授1名、講師1名、助教1名の追加により「准教授 0→1」「講師 2→3」「助教 1→2」に変更</p> <p>【急性看護学援助特論Ⅰ・Ⅱ】 【急性看護学演習ⅠA・ⅡA・ⅢA・ⅠB・ⅢB】 認可時の教授1名のうち1名が2022年5月1日現在准教授。退職予定のため、認可時教員数に含まれていない教授1名が2022年5月1日現在在職。認可時の講師1名が、2022年5月1日現在担当していない。以上により「准教授 0→1」「講師 1→0」に変更。教授の人数は変更なし。 【急性看護学演習ⅡB】 認可時の教授1名が2022年5月1日現在准教授のため「教授 1→0」「准教授 0→1」に変更 【急性看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ】 【急性看護学特別研究】 【急性看護学課題研究】 認可時の教授1名が2022年5月1日現在准教授。退職予定のため、認可時教員数に含まれていない教授1名が2022年5月1日現在在職。以上により、「准教授 0→1」に変更。教授の人数は変更なし。 【がん病態治療学】 兼任教員の変更と追加により「兼 14→15」に変更 【がん看護学特論】 【がん看護学援助特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 【がん看護学演習ⅠA・ⅡA・ⅠB・ⅡB】 【がん看護学実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ】 教授1名追加のため「教授 1→2」に変更 【慢性看護学特論】 【慢性看護学援助特論】 【慢性看護学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 認可時の講師1名が准教授昇任のため「准教授 0→1」「講師 1→0」に変更 【療養支援看護学分野 小計 (46科目)】 退職予定のため認可時教員数に含まれていない教授1名が2022年5月1日現在在職。認可時の教授3名のうち1名が2022年5月1日現在准教授。認可時の講師3名のうち1名が准教授に昇任。教授1名の追加。以上により「教授 3→4」「准教授 1→3」「講師 3→2」に変更。認可時の兼34のうち5名が重複して計上されていた。また、兼任1名を追加。以上により「兼 34→30」に変更</p> <p>【母性看護学援助特論】 認可時の講師2名のうち1名が准教授へ昇任のため「准教授 0→1」「講師 2→1」に変更 【母性看護学演習Ⅰ・Ⅲ】 認可時の講師1名が准教授昇任のため「准教授 0→1」「講師 1→0」に変更 【助産学援助特論】 認可時の講師2名のうち1名が担当を外れる。教授1名を追加。以上により「教授 1→2」「講師 2→1」に変更 【助産学演習Ⅰ】 教授1名、准教授1名、助教2名の追加により、「教授 1→2」「准教授 0→1」「助教 0→2」に変更 【助産学演習Ⅱ】 教授1名の追加により「教授 1→2」に変更 【助産学演習Ⅲ】 認可時の講師1名の担当取りやめにより「講師 1→0」に変更 【家族支援看護学分野 小計 (18科目)】 認可時の講師3名のうち1名が准教授へ昇任。助教2名の追加により「准教授 0→1」「講師 3→2」「助教 0→2」に変更</p> <p>【老年看護特別研究】 准教授1名の追加により「准教授 0→1」に変更 【地域看護学演習Ⅰ】 認可時の講師1名の担当取りやめ、認可時の助教1名の退職により「講師 1→0」「助教 1→0」に変更 【地域看護学演習Ⅱ・Ⅲ】 認可時の助教1名の退職により「助教 1→0」に変更 【在宅看護学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 認可時の助教1名の退職により「助教 1→0」に変更 【在宅看護特別研究】 准教授1名の追加により「准教授 0→1」に変更 【生活支援看護学分野 小計 (18科目)】 認可時の助教2名の退職により「助教 2→0」に変更</p> <p>【合計 (115科目)】 認可時の教授12名のうち1名が2022年5月1日現在准教授。退職のため、認可時の教員数に含まれていない教授1名が2022年5月1日現在在職。認可時の講師10名のうち2名が准教授へ昇任。認可時の助教5名のうち2名退職。認可時の兼72名のうち1名が委嘱取りやめ。教授1名、准教授1名、講師1名、助教3名追加。以上により「教授 12→13」「准教授 4→8」「講師 10→9」「助教 5→6」「兼 72→71」に変更</p> |
|--|

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度 (令和2年度開設であれば令和元年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|--------|-----------|----|-----------|-----------|------------------|-----------|------------------|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 (A) | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 科目 | 115 科目 | 科目 | 115 科目 | 科目 [] | 115 科目 [] | 科目 [] | 115 科目 [] | |

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|-----------------|
| 1 | | | | | | 該当なし |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1 | | | | | | 該当なし |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| |
|------|
| 該当なし |
|------|

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{115} = \boxed{}\% \quad 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備 考 | | | | | |
|-----------------------------------|-------------------|--------------------------------------|--------------------------------|---------------------------|------------------------------------|--|--|--|--------|-----------------|--|
| (1) 校 地 等 | 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | ※大学全体 【うち、神戸キャンパス分】 ・校舎敷地 40,772.70㎡ ・運動場用地 3,765.30㎡ ・その他 4,600㎡ | | | | | |
| | 校 舎 敷 地 | 84,793.79㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 84,793.79㎡ | | | | | | |
| | 運 動 場 用 地 | 34,842.30㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 34,842.30㎡ | | | | | | |
| | 小 計 | 119,636.09㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 119,636.09㎡ | | | | | | |
| | そ の 他 | 19,571.55㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 19,571.55㎡ | | | | | | |
| 合 計 | 139,207.64㎡ | 0㎡ | 0㎡ | 139,207.64㎡ | | | | | | | |
| (2) 校 舎 | | 専 用 (80,410.43㎡ (92,050.25㎡) | 共 用 (0㎡) | 共用する他の 学校等の専用 (0㎡) | 計 (80,410.43㎡ (92,050.25㎡) | ※大学全体 【うち、神戸キャンパス分】 ・校舎 35,075.83㎡ | | | | | |
| (3) 教 室 等 | 講 義 室 | 36室 | 演 習 室 | 98室 | 実験実習室 | 50室 | 情報処理学習施設 | 4室 (補助職員 23人) | 語学学習施設 | 0室 (補助職員 0人) | ※大学全体 【うち、神戸キャンパス分】 ・講義室 20室 ・演習室 29室 ・実験実習室 36室 ・情報処理学習施設2室 ・語学学習施設0室 |
| | (4) 専任教員研究室 | | 新設学部等の名称 | | 室 数 | | 看護学部 看護学研究科 看護学研究科 看護学専攻 | | 36 室 | | ※看護学部・看護学研究科で共通 |
| (5) 図 書 ・ 設 備 | 新設学部等の 名称 | 図 書 【うち外国書】 冊 | 学術雑誌 【うち外国書】 種 | 電子ジャーナル 【うち外国書】 | 視聴覚資料 点 | 機械・器具 点 | 標 本 点 | 【大学全体での共用分】 ・図書9,965冊 ・学術雑誌7,200種(うち 電子ジャーナル7,148種) ・視聴覚495点 ・機械・器具3,071点 ・標本37点 | | | |
| | 看護学研究科 看護学専攻 | 11,730 [1,130] (11,495 [1,127]) | 260 [120] (260 [120]) | 52 [52] (52 [52]) | 501 (485) | 159 (161) | 43 (46) | ・図書11,102冊 ・学術雑誌7,200種(うち 電子ジャーナル7,148種) ・視聴覚521点 ・機械・器具3,049点 ・標本36点 | | | |
| | 計 | 11,730 [1,130] (11,495 [1,127]) | 260 [120] (260 [120]) | 52 [52] (52 [52]) | 501 (485) | 159 (161) | 43 (46) | | | | |
| (6) 図 書 館 | 面 積 | | 閱 覧 座 席 数 | | 収 納 可 能 冊 数 | | ※大学全体 【うち、神戸キャンパス分】 面積：2,795.24㎡ 閲覧座席数：408席 収容可能冊数：88,333冊 | | | | |
| | 3,792.24㎡ | | 566席 | | 128,611冊 | | | | | | |
| (7) 体 育 館 | 面 積 | | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | | | | ※大学全体 【うち、神戸キャンパス分】 ・体育館 2,351㎡ | | | | |
| | 8,041.47㎡ | | (西宮キャンパス) 野球場1面 テニスコート3面 | | (神戸キャンパス) テニスコート2面 | | | | | | |
| (8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要 | 区 分 | 開 設 年 度 | 完 成 年 度 | 区 分 | 開 設 前 年 度 | 開 設 年 度 | 完 成 年 度 | ※図書購入費には電子 ジャーナル・データベ ースの整備費(運用コスト 含む)を含む。 ※経費の見積り金額につ いては看護学部と看護学 研究 科の合計 【神戸キャンパス全体で の共用分(設備購入 費)】 33,968千円 | | | |
| | | 教員 1 人 当 り 研 究 費 等 | 450千円 | 450千円 | 図書購入費 | 16,606千円 | 16,606千円 | 16,606千円 | | | |
| | 共 同 研 究 費 等 | 700千円 | 700千円 | 設備購入費 | 0千円 | 259千円 | 259千円 | | | | |
| | 学 生 1 人 当 り 納 付 金 | 第 1 年 次 | 第 2 年 次 | 第 3 年 次 | 第 4 年 次 | 第 5 年 次 | 第 6 年 次 | | | | |
| 600千円 | | 500千円 | - | - | - | - | | | | | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | 寄附金収入・補助金収入・手数料収入等を充当 | | | | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 兵庫医科大学 | | | | | | 学生募集停止学科数 | 0 | 平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数 | 0 | 備考 |
|-------------|--------|------|-------|------|-----------|-----------|--------------|------------------|---------------------|-----------------------|----|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 令和4年度入学定員超過率 | 令和3年度(AC期間の学科のみ) | 開設年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | 倍 | 年度 | 年度 | 年度 | |
| 医学部 | | | | | | | | | S47 | 兵庫県西宮市 武庫川町1番1号 | |
| 医学科 | 6 | 112 | - | 672 | 学士(医学) | 1.00 | 1.00 | | | | |
| 薬学部 | | | | | | | | | R4 | 兵庫県神戸市中央区 港島1丁目3番6 | |
| 医療薬学科 | 6 | 150 | - | 900 | 学士(薬学) | 0.99 | 0.92 | | | | |
| 看護学部 | | | | | | | | | R4 | 兵庫県神戸市中央区 港島1丁目3番6 | |
| 看護学科 | 4 | 100 | - | 400 | 学士(看護学) | 1.08 | 1.09 | | | | |
| リハビリテーション学部 | | | | | | | | | R4 | 兵庫県神戸市中央区 港島1丁目3番6 | |
| 理学療法学科 | 4 | 40 | - | 160 | 学士(理学療法学) | 1.19 | 1.32 | | | | |
| 作業療法学科 | 4 | 40 | - | 160 | 学士(作業療法学) | 1.07 | 1.15 | | | | |
| 大学全体 | - | 442 | - | 2292 | - | - | - | - | - | - | |

| 大学の名称 | 兵庫医科大学大学院 | | | | | 学生募集停止学科数 | 0 | 平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数 | 1 | 備考 |
|-----------------|-----------|------|-------|------|----------|-----------|--------------|----------------------|------|-----------------------|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 令和4年度入学定員超過率 | 定員変更年度(AC期間の学科のみ) | 開設年度 | 所在地 |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | 倍 | 年度 | 年度 | 年度 |
| 医学研究科 博士課程 | | | | | | | | | S53 | 兵庫県西宮市 武庫川町1番1号 |
| 医科学専攻 | 4 | 40 | - | 160 | 博士(医学) | 1.12 | 0.90 | | | |
| 先端医学専攻 | 4 | 20 | - | 80 | 博士(医学) | 0.04 | 0.05 | | | |
| 薬学研究科 博士課程 | | | | | | | | | R4 | 兵庫県神戸市中央区 港島1丁目3番6 |
| 医療薬学専攻 | 4 | 3 | - | 12 | 博士(薬学) | 1.33 | 1.33 | | | |
| 看護学研究科 修士課程 | | | | | | | | | R4 | 兵庫県神戸市中央区 港島1丁目3番6 |
| 看護学専攻 | 2 | 8 | - | 16 | 修士(看護学) | 1.13 | 1.13 | - | | |
| 医療科学研究科 修士課程 | | | | | | | | | R4 | 兵庫県神戸市中央区 港島1丁目3番6 |
| 医療科学専攻 | 2 | 8 | - | 16 | 修士(医療科学) | 1.00 | 1.00 | - | | |
| 大学院全体 | - | 79 | - | 284 | - | - | - | - | - | - |

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学研究科 看護学専攻>

(掲載省略)

6 附帯事項等に対する履行状況等

| 区分 | 附帯事項等 | 履行状況 | 今後の実施計画 |
|---------------|--|---|---|
| 認可時 (令和3年) | 長期的かつ安定的な学生の確保に資するため、本研究科に対する社会的なニーズを客観的な根拠に基づき分析するなどにより、学生募集活動の充実を図るとともに、アドミッション・ポリシーにかなう学生の十分な確保に努めること 遵守事項 | ホームページ等により設置認可されたこと及び看護学研究科の特徴を明確に打ち出して学生募集を行った。また、看護学研究科オープンキャンパスを開催する等の学生募集活動を行うことで、2022年度は入学者が9名となり、定員8名を満たした。 | ホームページの内容を充実させるとともに、引き続き、オープンキャンパスの実施や卒業生へのアナウンス、附属病院看護部への広報活動等を行い、入学者獲得に繋げる。 |

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況、今後の見通しなど |
|--------|------------------|
| | 該当なし |

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

| |
|--|
| <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学看護学研究科は、同一法人が設置する兵庫医療大学の廃止に伴い、令和4年4月に、兵庫医療大学の3研究科（薬学研究科・看護学研究科・医療科学研究科）を、これまでと同じ内容で兵庫医科大学に統合する形で設置された。医療大学の廃止に伴い、これまで医療大学にて実施していたFD・SDについては、全学組織として新たに設置した、兵庫医科大学FD・SD推進室（以下「推進室」という。）が継続して企画・運営を行うこととなった。推進室は、本学の理念、目的の実現に向け、FDとSDを積極的に推進し、個々の教員の教育力の向上、集団・組織としての教育力の向上、学部間・研究科間の相互理解力の向上、教員の研究力向上及び相互協力体制による研究力の向上、教職員の大学運営に関する能力及び資質の向上の5項目を目的に活動を行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>推進室会議を、年度の期首と期末に開催する。ただし、必要あるときは随時開催する。 令和4年5月1日現在の開催状況は以下の通りである。 ・4月15日第1回推進室会議 参加者：推進室長、医学部・薬学部・看護学部・リハビリテーション学部教員各1名、事務職員1名 ・5月24日：第2回推進室会議（予定） 参加者：推進室長、医学部・薬学部・看護学部・リハビリテーション学部教員各1名、事務職員1名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本学の教員の能力開発の指針の整備に関すること 2 FD・SDの基本方針の策定に関すること 3 教員の教育技法に係るFD・SDの実施支援に関すること 4 各種アセスメント結果を活用した授業改善などに係るFD・SDの実施支援に関すること 5 全学的FD・SDの企画・立案及び実施に関すること 6 全学及び各学部・研究科等でのFD・SD年間計画の統括及び実施後の総括に関すること 7 その他FD・SDに関し必要な事項に関すること <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>①看護学研究科・BP修了生と看護学部教員との交流会の開催 ・看護学研究科修了生と看護学部教員との共同研究における成果報告 ・看護学研究科修了生およびBP修了生の現在の研究活動あるいは看護実践活動の報告</p> <p>②博士後期課程教育に関連した（博士後期課程修了生の修得すべき能力、教育課程の編成の考え方など）講演の開催 ・国内から講師を招聘し特別講義を開催する。特別講義の内容は博士後期課程設置に係る新たな知見とする。</p> <p>b 実施方法</p> <p>①2021年12月ごろに、看護学研究科修了生・BP修了生・看護学部教員が出席し報告会を予定した。 ②時期：2021年8月に講演会形式で開催した。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>①新型コロナウイルス感染症の影響により、看護学研究科・BP修了生と看護学部教員との交流会を断念した。 ②「看護学研究科博士後期課程の教育」をテーマに、鈴木志津枝教授を講師として2021年8月24日（火）企画・実施した。参加者は看護学部教員38名であった。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>博士後期課程の開設を視野に入れ、「看護理論についての最新の動向」について強化していく。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>各学年ごとに前期後期それぞれの終了時期に合わせ授業評価アンケートを実施している。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>集計結果は研究科委員会（教授会）で報告している。</p> |
|--|

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・大学の理念・目的の実現に向け3つの学部に加え、各領域における学識と専門性を高めるために学部を基礎とする研究科を設置している。研究科は大学のミッションに掲げる医療専門職者の育成に則した教育研究組織である。看護学研究科および医療科学研究科は両研究科共通科目の科目を設定し、連携・協働して大学院教育を実施している。また、共通科目および専門分野の科目の教育活動はオンライン（オンデマンド、双方向性）、対面授業などを活用しながらより学修が進み深まるような教育方法を組み合わせて実施した。

・オンライン（オンデマンド、双方向性）、対面授業などを活用しながらより学修が進み深まるような教育方法を組み合わせて実施した。教育研究活動および環境に関する学生からの評価は定期的に前期・後期の教育研究活動に対して実施しており、その学生からの評価結果を研究科委員会で確認したが問題状況はなく、さらなる向上に向けた取り組みを検討した。

・臨床実践家の育成プログラムである「文部科学大臣認定職業実践力育成プログラム（BP）地域在宅看護実践力育成プログラムコース」について開設5年目の評価を実施した。プログラム修了者へのアンケートならびに外部委員へのヒアリングから、一定の役割を果たしたと評価した。

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年6月公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（令和5年6月）

③ 認証評価を受ける計画

令和6年に公益財団法人日本高等教育評価機構の評価を受審

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。